

令和7年度 草津市まち・ひと・しごと創生本部会議

開催日時	令和8年1月15日(木) 午前9時40分から午前10時00分まで
開催場所	庁議室
出席者	市長、辻川副市長、南川副市長、教育長、総合政策部長、総合政策部理事(草津未来研究所担当)、総合政策部理事(経営・DX戦略担当)、危機管理監、総務部長兼法令遵守監、まちづくり協働部総括副部長(まちづくり協働部長代理)、環境経済部長、健康福祉部長、健康福祉部理事(健幸都市づくり・地域共生社会推進担当)兼こども若者部理事(こどもの居場所づくり担当)、こども若者部長、特命監(都市戦略担当)兼都市計画部長、都市計画部理事(交通・開発担当)、建設部技監、建設部長、上下水道部長、教育部長、教育部理事(スポーツ担当)、教育部理事(学校教育担当)、議会事務局長
欠席者	監査委員事務局長
議事概要	下記のとおり

1. 案件

(1) 令和6年度 デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業について

【審議案件】

【事務局より論点整理資料に基づき説明】

- 「第2期草津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、第6次草津市総合計画の第1期期基本計画と一体的に、令和3年度から令和6年度を計画期間として策定し、令和7年度からは、第2期基本計画と一体的に、令和7年度から令和10年度を計画期間として「第3期草津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。
- 第6次草津市総合計画期間中には、人口減少局面を迎えることが見込まれていることから、今後、より一層の地方創生の取組を進めていく必要がある。

『三方よしの持続可能な健康寿命延伸プロジェクト』

- 令和6年度に実施した交付金活用事業について、外部有識者から「事業の評価」を受けるにあたり、令和8年12月26日に開催の幹事会を経て、本部会議にて草津市の評価について検証いただく。
- 滋賀県および草津市、愛荘町による連携事業で、市の実績額の合計は、21, 579, 967円で、交付金の額は2分の1の10, 789, 483円。
- 「事業概要および事業内容」は、記載のとおり。
- 重要業績評価指標(KPI)について、(1)「本事業の取組により事業化・商品化した数」は、県の「健康しが」共創会議を通じた事業化・商品化が対象で、令和6年度の目標値28件の増加に対して、実績値は43件の増加であった。(2)「主観的健康感の向上に関する取組に参加した県民の数を6万人とする」は、目標値延べ人数27, 600人の増加に対して、実績値延べ人数33, 940人で、草津市分が、延べ人数12, 813人であった。(3)「県政世論調査で「健康的な生活を送っていると感じるか」という問い合わせに対し「感じる」と答えた県民の割合を50%とする」については、目標値50%に対して、実績値23. 2%であった。
- 事業効果としては、3つの重要業績評価指標(KPI)のうち2つが達成となっており、達成率が7割以下となることから、「KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合」に該当するため、事業効果については、「地方創生に効果があった」としている。

- ・今後の方針は、当初の計画期間どおり令和6年度までの交付金の活用となっていることから、「事業の終了」となり、令和7年度以降は交付金の活用により得ることができたノウハウや成果を生かしつつ、自走化という形で健幸都市づくり関連イベントや啓発・情報発信業務を継続して実施していく予定である。
- ・草津市の総合戦略自体の効果検証については、第2期の総合戦略より総合計画と一体的に策定していることから、総合計画の基本目標ごとに設定されたベンチマークの報告により、総合戦略の評価を行っていただいている。

【主な質疑・意見】

意見なし。

【結論】

審議了とする。

(2)新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)事業について【報告案件】

【事務局より資料2に基づき説明】

- ・令和7年度は、令和6年度まで実施していた「デジタル田園都市国家構想交付金」が「新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)」に名称を変更し、内容についても、デジタルの活用に限らず、それぞれの地域の特性を活かし、より大規模な地方創生策を講ずる取組を支援する制度設計となった。
- ・今年度の交付金活用事業は、対象事業は、「笑顔のまち、住みよいまち やまだ」の地方創生拠点整備事業』と「美しい心と活気のあるまち・矢倉」の2事業である。
- ・「笑顔のまち、住みよいまち やまだ」の地方創生拠点整備事業については、予算額が200, 860, 000円で交付金は2分の1の100, 430, 000円。重要業績評価指標(KPI)は、①地域の人口・世帯数、②コミュニティビジネスによる収入増、③山田まちづくりセンターの利用者数を設定している。
- ・「美しい心と活気のあるまち・矢倉」については、予算額204, 010, 000円で交付金は2分の1の102, 005, 000円。
- ・重要業績評価指標(KPI)は、①矢倉学区の人口、②センターの利用者数、③センターにおけるイベント参加者を設定している。
- ・当該事業については、効果検証、評価を令和8年度以降にしたうえで、国への報告をする予定である。

【主な質疑・意見】

- ・両事業で、重要業績評価指標(KPI)の表現を統一したほうが良いのではないか。
⇒すでに提出した計画であるため、修正できない。

(3)令和6年度草津市企業版ふるさと納税について【報告案件】

【事務局より論点整理資料に基づき説明】

- ・事業者が、寄附を通じて地方の活性化を応援する制度で、地方公共団体による「地方創生プロジェクト」に寄附をされた場合、税制上の優遇措置が受けられるというものである。
- ・令和6年度の実績は、資料記載のとおり。

【主な質疑・意見】

意見なし。

以上

このページのお問い合わせ

概要作成担当 草津市 総合政策部 企画調整課 企画調整係

電話 077-561-2320

ファックス 077-561-2489

メール kikaku@city.kusatsu.lg.jp